

発見! 白井の仕事人 80

～いつの時代も子どもたちが安心して遊べるように～

(株)丸山製作所



工場入口
丸山製作所 白井工場
☎497-1175

まるやまともまさ
目の丸山智正さんが経営しています。

本社は東京の亀戸にあり、都営団地の駐輪場製造の需要が高まったため、昭和58年に白井工場を設立、製造が開始となりました。当時は本社で遊具、白井工場では駐輪場関連の製造をし、後に遊具を含め製造の大部分は白井工場へと移行していきました。

「時代の流れもあり、今は遊具の製造だけでなく、ベンチ、車止め、ステンレス手すり、パイプ柵といった公園施設や景観施設も製造しています。中には外注しているものもありますが、遊具は安全を考慮して溶接後の処理なども自社で行っています」と製造部長の上條さんは話します。

以前は遊具の寸法はメーカーごとに違っていました。平成14年に事故予防の観点から『遊具の安全に関する基準』ができました。従来のもとは規格が変わってしまうため、反発の声を上げる企業もあったそうです。しかし、「安全のためには必ず守らなければいけない」とすぐに対応し、現在は、公園管理者向けの日常点検の講習も行っています。

工場では遊具を製造している様子を見学させようと、手作業で丁寧な作っている印象を受けました。耐久性を調べる試験とPRのために入口に設置されている遊具を見ると、子どもたちが、どこを触ってもけがをしない配慮がされています。市内では、栄みどり公園、根上児童公園、七次第二公園で同社のブランコやすべり台などを設置しています。

「今は樹脂製の遊具が増えてきましたが、丈夫で長持ちな金属加工を突きつめて新たな遊具や公園施設へ作っていきたいです」と語る上條さんは、「小学生の工場見学も実施してみたい」とも話してくれました。

時代の流れに対応しつつ、安全に遊べる遊具に対する情熱が強く印象に残りました。

問 産業振興課商工振興班 内線3243

今回の仕事人は、白井工業団地内にある丸山製作所を紹介します。

昭和21年、鍛冶屋としての技術を持っていた初代社長の丸山清治まるやませいじさんが、戦後の焼け野原のがれきの中で遊ぶ子どもたちの姿を見て、「遊び道具を作ってあげよう」と思い、当時貴重な鉄材料を集め、幼稚園に遊具を設置したことが創業のきっかけです。今は三代



すべり台を製造しています